

2022年10月期 第2四半期決算説明資料

株式会社モルフォ
(東証グロース:3653)



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものです。当該情報および仮説に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等により、実際の業績等は本資料記載の内容とは異なる場合がございます。

Vision



Rise above what we see, to realize what we feel

-人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-

2022年10月期 第2四半期決算 概要

■ 前年同期比で増収増益

売上が前年同期比93百万円増加(YoY+11.4%)、営業利益も前年同期比82百万円改善。
四半期ベース(2~4月の3カ月間)の売上も前年同期比46百万円増加(YoY+9.5%)、売上は回復基調。

■ 新規事業(DXコンサル)が進捗

国立国会図書館向けソリューションの成果物であるOCR処理プログラム「NDLOCR」の開発が完了し、新たに国立国会図書館から視覚障害者等向けOCR処理プログラムの開発を受託。

■ 本社オフィス移転

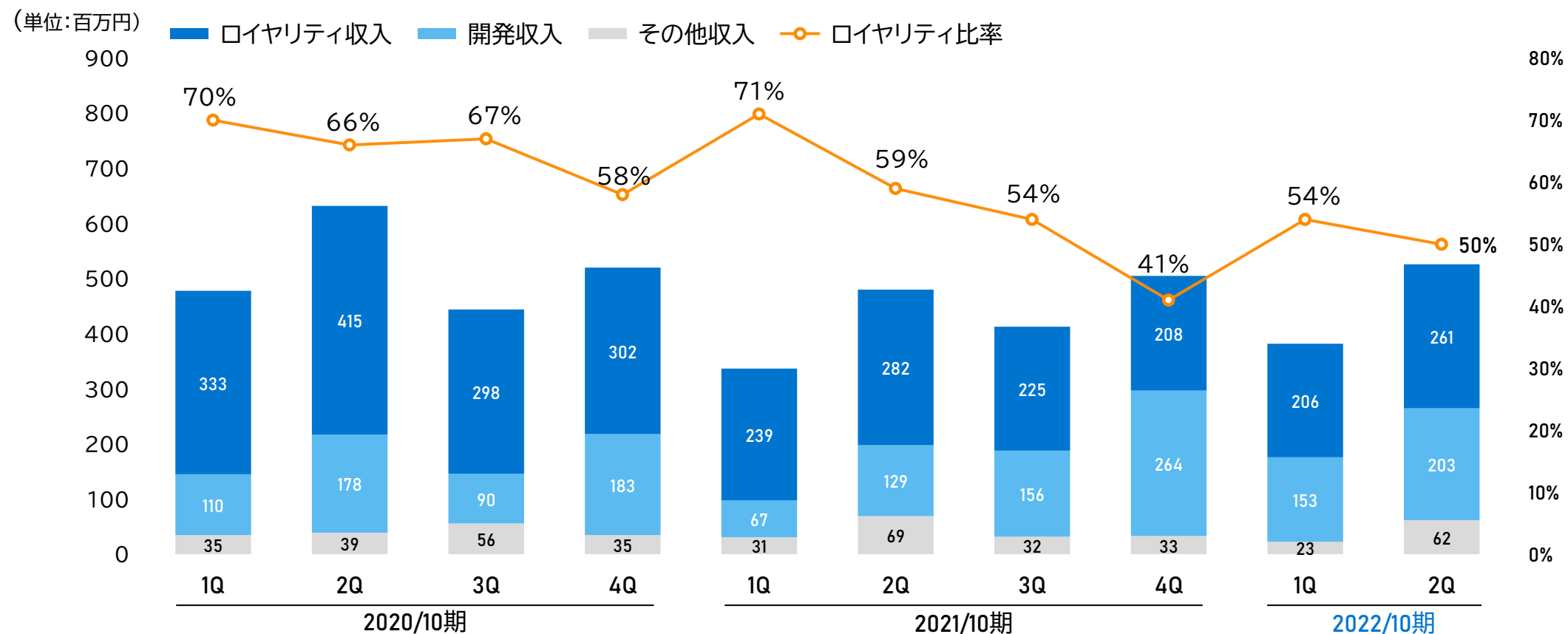
オフィス減床による固定費削減やイノベーション促進に向けたオフィス環境整備、社員の働き方や企業規模に応じた柔軟性の確保といった観点を総合的に考慮し、本社オフィスを移転。

- 売上：ロイヤリティ収入減少だが、開発収入増加により前年同期比+11.4%
- 費用：販売管理費は減少するも、売上原価増加の影響により前年同期比+0.9%
- 営業利益：△323百万円 (前年同期比+82百万円)

(単位:百万円)	2021/10期 2Q	2022/10期 2Q	増減
売上	815	908	93
営業費用	1,221	1,232	11
営業利益	△405	△323	82
経常利益	△390	△288	102
親会社株主に帰属する 当期純利益	△363	△302	61

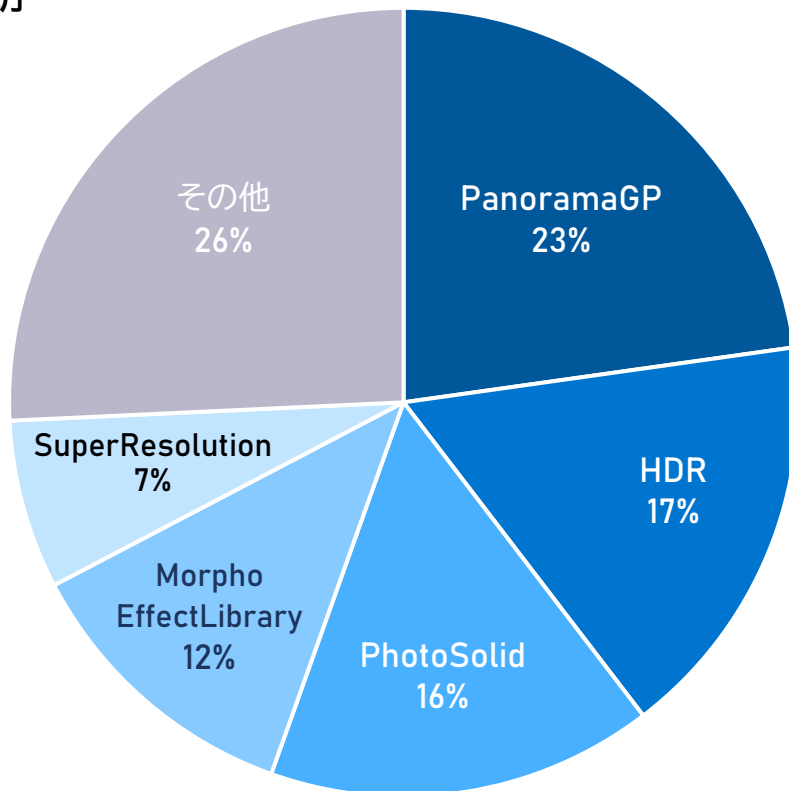
売上収益構成 - ビジネスモデル別 -

- ロイヤリティ収入: 中華圏顧客からの売上減少が響き前年同期比 $\Delta 7.4\%$ だが、売上は回復基調
- 開発収入: DXコンサル関連(OCR)の開発と車載機器向け新規開発案件が貢献し前年同期比 $+57.3\%$
- その他: コンサルティング・サポート収入が堅調に推移

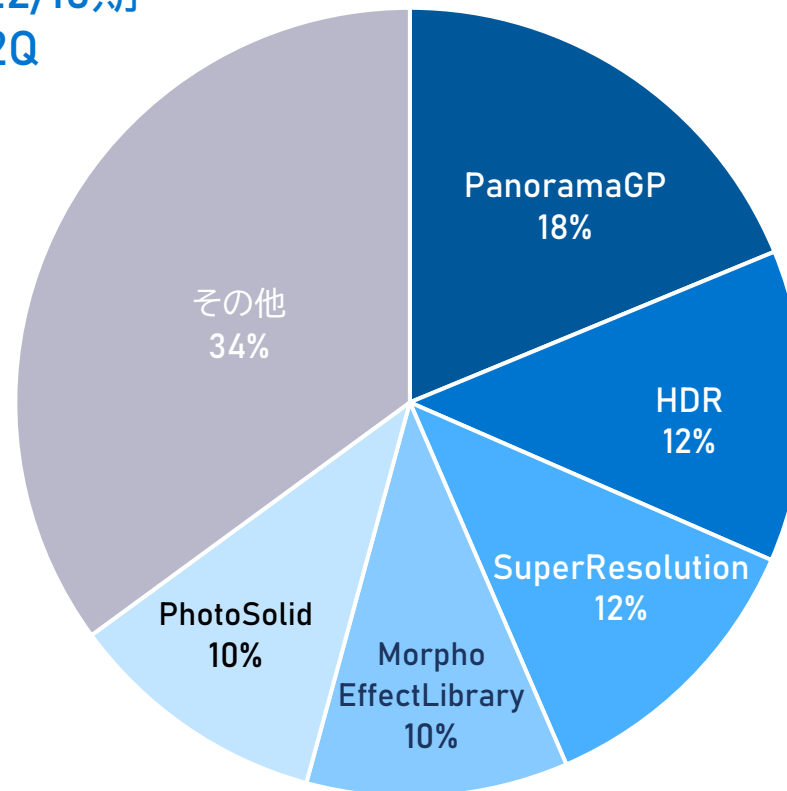


- 主力製品は堅調に推移

2021/10期
2Q

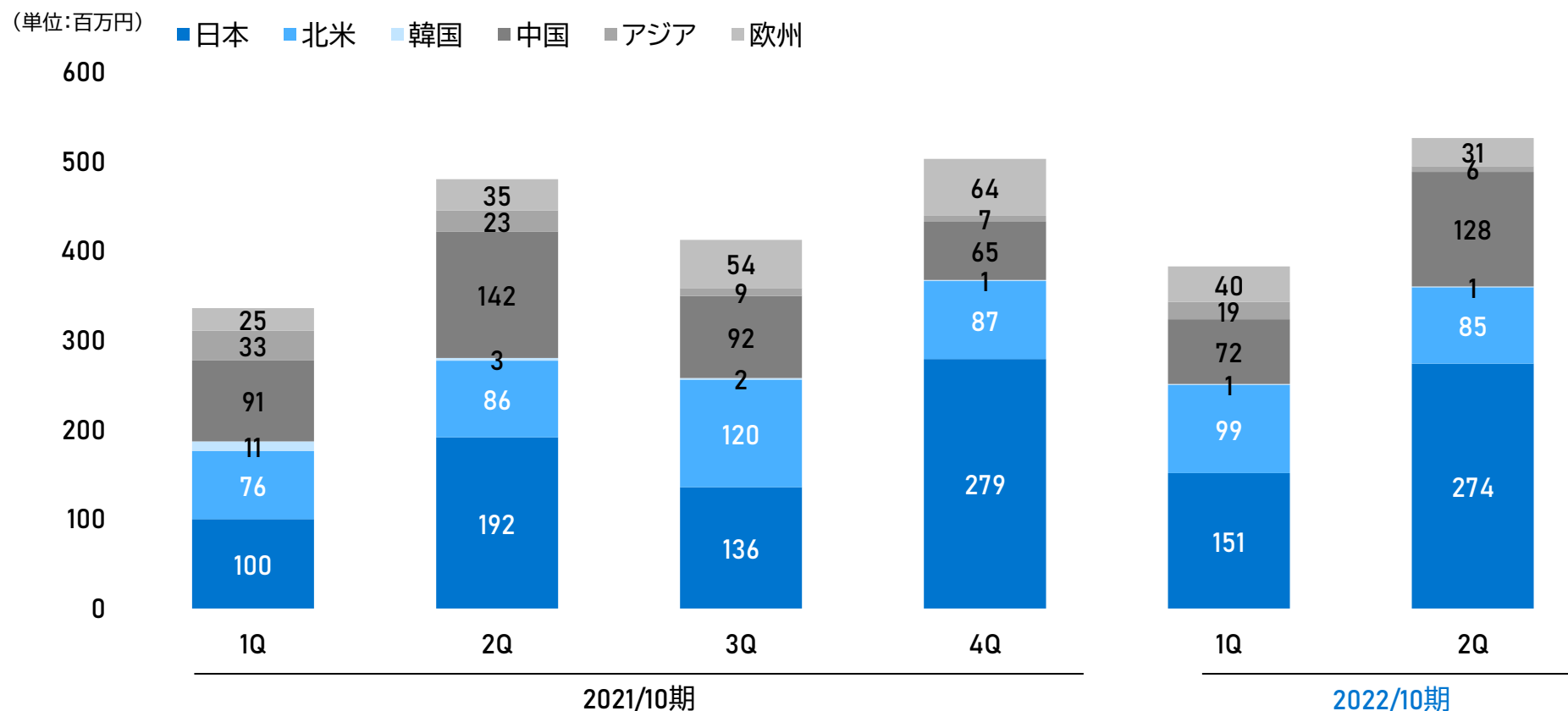


2022/10期
2Q



%はロイヤリティ収入に対する割合

- 日本: DXコンサル関連(OCR)の開発と車載機器向け新規開発が貢献し前年同期比+42.7%
- 北米: 主要顧客からのロイヤリティ収入が堅調に推移
- 中国: 特定顧客との取引減少の影響により前年同期比△9.8%だが、売上は回復基調

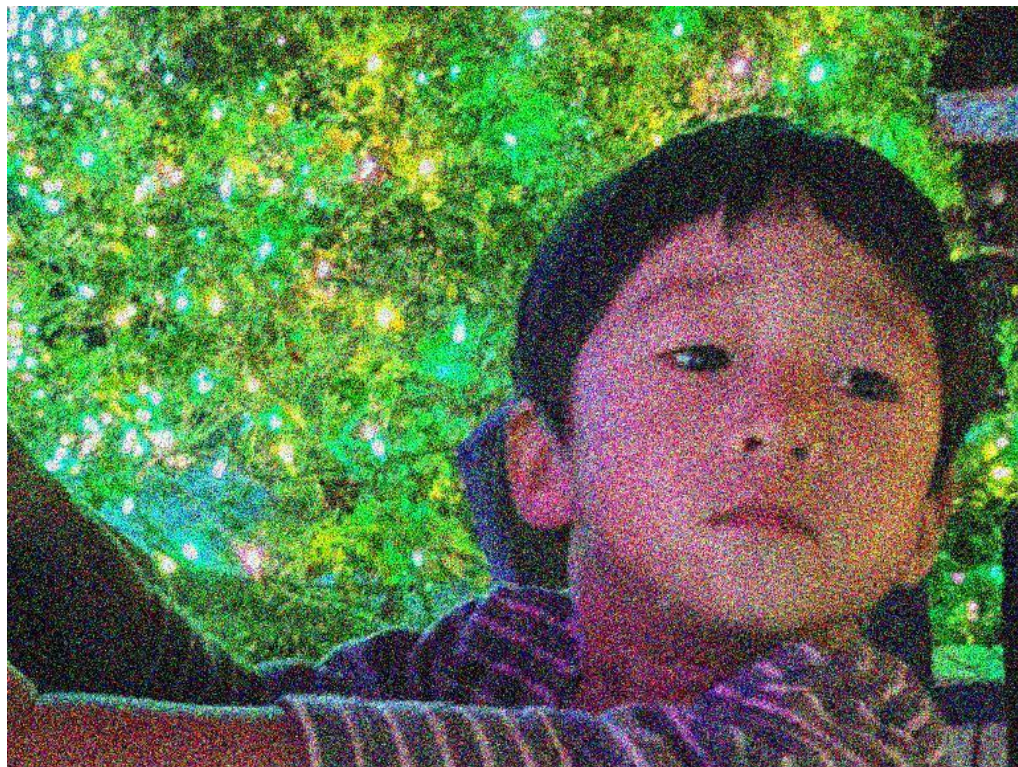


※地域分類は原則、顧客所在地に依拠。

AIを活用した画像処理技術の開発を促進

ノイズ除去

- AIの活用により、高感度撮影でも高い解像感とノイズ軽減効果が得られる
- 動画向けも開発中であり、スマートフォンやPCのみならず、監視カメラや車載等での活用想定



Original



Result

AIを活用した動画向け画像処理技術の開発を強化

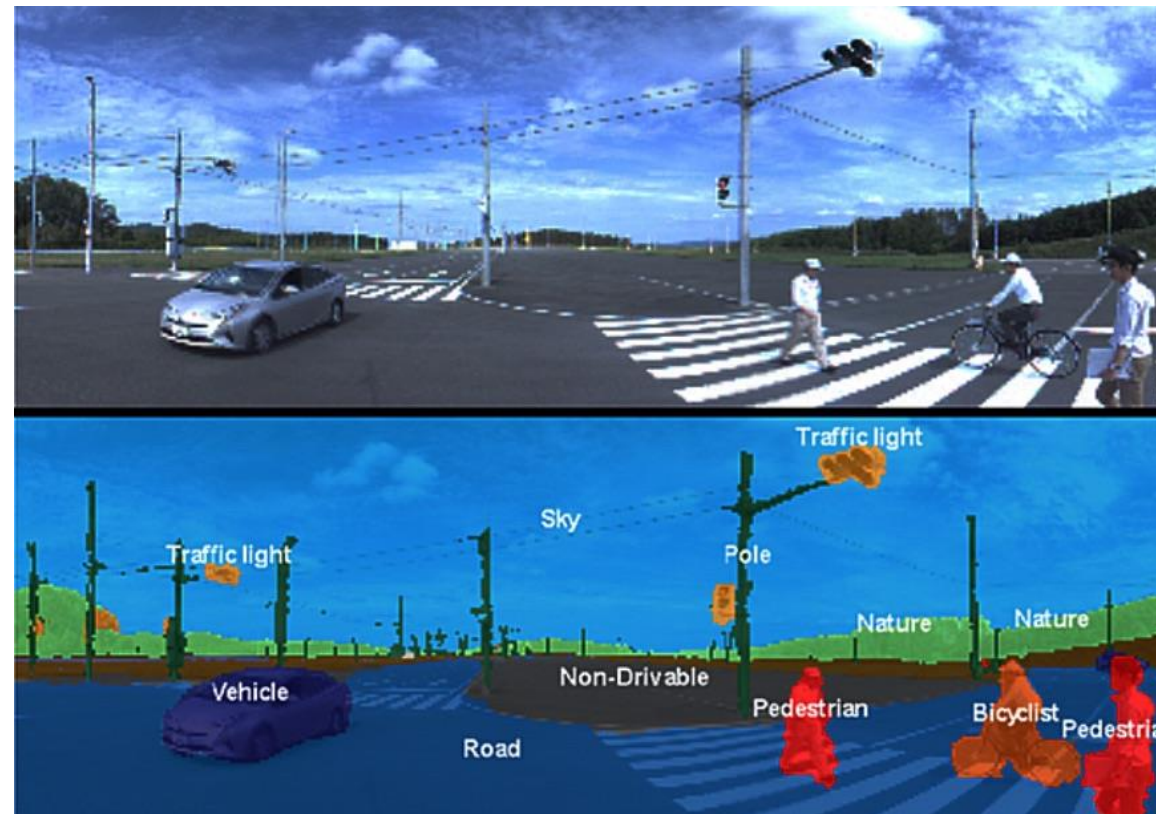
| 動画向け背景ぼかし

- ビデオ会議の増加等により、動画向けソリューションのニーズ高まり、開発を強化
- 被写体と背景の境界部分を綺麗に分離することができ、高精度な背景ぼかしを実現
- 人以外の被写体でも前景と背景を判断することが可能



デンソーとの共同研究開発の成果が実用化へ

- 2015年12月より共同研究開発を進めてきた、高度運転支援システム向け画像認識技術の一部が、デンソーが開発した車両の周辺環境認識および安全性能向上に貢献する「Global Safety Package3」に採用
- 画像認識技術は、カメラで自車の前方環境を検知する「画像センサー」に応用され、AI技術を生かして画像データから、車両、標識、歩行者などを高性能で検知し、車両の安全性能向上に貢献

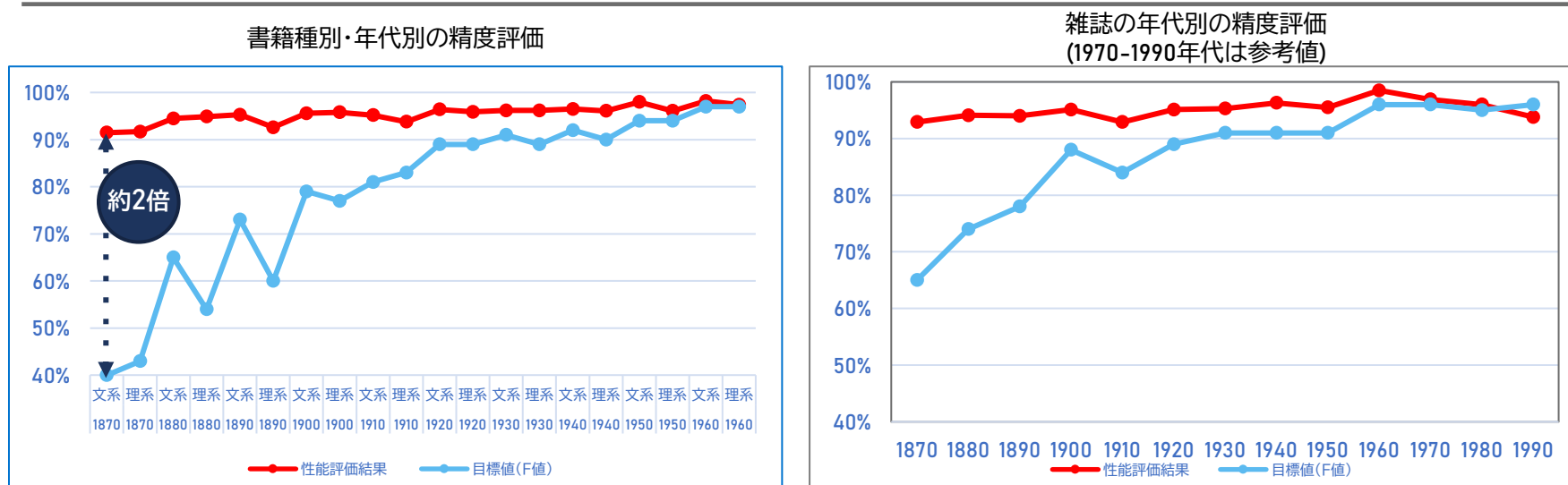


(画像はイメージです。2016/12/9プレスリリースより引用)

国立国会図書館～AIを活用したOCR処理プログラム「NDLOCR」の開発完了～

- 多様なレイアウト・文字種に対応し、明治期～昭和期までの複雑な資料のテキスト化を実現
 - 国立国会図書館デジタルアーカイブで歴史的資料も全文テキスト検索が可能に
- 難易度が高い明治期～昭和初期の認識精度が他社OCR処理プログラムの2倍
 - 明治期～昭和初期：他社OCR約40% ⇔ 当社OCR90%以上
 - 1860年代以降：90%以上の高い認識率を実現
- 新たに視覚障害者等向けOCR処理の開発を受託

認識精度基準と認識性能評価結果まとめ



- オフィスの減床による固定費削減
 - 在宅勤務制度導入による社員出勤率減少等を考慮し本社オフィスをWeWorkに移転
 - 移転により来期以降のオフィス賃料等の固定費減少を見込む
- イノベーションを促進するための環境整備
 - 社員の働き方に合わせた最適なオフィス環境の提供
 - WeWorkメンバーとの交流をきっかけにした新たなビジネスの創出や共創



(画像: ©WeWork)

Appendix

新中期経営計画 Vision2024

ビジョン

Rise above what we see, to realize what we feel
—人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう—

経営目標

イノベーションを通じて顧客価値を最大化する

基本戦略

特定セグメントに経営資源を集中し、競合との差別化を実現することにより競争に勝つ

先進のイメージング・テクノロジーにより、利便性・安心安全・生産性の向上に貢献する



ストック型ビジネスを強化し、継続性と収益性の高いビジネスの拡大を目指す



01

中華圏スマートフォンOEMのシェア拡大に伴い、中国拠点を強化

中国拠点において新規ニーズを即時把握

02

主要スマートフォンチップセットメーカーとの関係強化

スマホOEMのチップセット採用動向を把握し、開発投資を事前最適化

01

既存顧客との連携継続・強化

共同研究開発を継続・拡大

02

自社商品によるロイヤリティビジネス事業化

独自商品開発および車載SoCメーカーとのパートナー連携

03

ミックウェア社との戦略的提携によるビジネス創出

資本業務提携を締結、車載ビジネスの付加価値向上と新規ビジネス協創を推進

01

画像認識AI技術を用いたDX向けビジネス拡大

OCRを起点にBPOビジネスへ展開

02

監視カメラ画像解析AIで安心安全なまちづくりに貢献

店舗混雑の可視化、介助が必要な人の発見、駅の安全管理など

A large, intricate wireframe butterfly graphic on the left side of the slide. It is composed of numerous white dots connected by thin white lines, forming the shape of a butterfly in flight. The background is a solid blue color with a diagonal split.

お問い合わせ先
コーポレート戦略部 IR担当
E-Mail: m-info-ir@morphoinc.com